

1. セッション名

地球接近天体の把握とプラネタリー・ディフェンス

2. オーガナイザ氏名、所属、連絡先(電話番号/メールアドレス)

代表	氏名	所属	連絡先
○	吉川 真	JAXA	
	柳沢俊史	JAXA	
	奥村真一郎	日本スペースガード協会	

3. 概要

小惑星や彗星などの太陽系小天体の地球衝突問題は、スペースガードあるいはプラネタリー・ディフェンスとして、ここ 20 年間ほど国際的に取り組まれてきている。特に近年、日本でも新しい観測装置・手法が開発され、地球に接近している高速移動天体が発見できるようになってきた。同時に、地球にはかなり多くの天体が実際に接近していることも認識されてきた。本セッションでは、天体の地球衝突問題に対して、実際に行われている観測、今後計画されている観測、天体衝突回避の検討、国際的な状況など多角的な方面から把握し、今後の日本の宇宙開発においてこの問題に対してどのように対応していくべきかを議論する。

4. セッション構成、発表件数

発表件数は 10 件を予定しているので、3 セッション（可能ならば 2 セッション）で行う。

5. 個別発表題目と著者、所属、講演登録番号(発表順)

セッション# 発表題目	主著者	所属	講演登録 番号	司会
地球接近天体とプラネタリー・ディフェンス	吉川真	JAXA	1	奥村真一郎
地球への小天体衝突で起こること	柳澤正久	電気通信大学	2	
木曾広視野カメラ Tomo-e Gozen による高速移動 NEO の 検出手法の開発	小島悠人	東京大学	3	吉川真
小型望遠鏡を利用した NEO サーベイシステムの構築(現 状と将来構想)	柳沢俊史	JAXA	4	
木曾広視野カメラ Tomo-e Gozen と重ね合わせ法による 高速移動 NEO のサーベイ観測計画	奥村真一郎	日本スペース ガード協会	5	
NEO 2012 TC4 の観測:木曾広視野カメラ Tomo-e Gozen を用いた高時間分解ライトカーブ	浦川聖太郎	日本スペース ガード協会	6	
裂候補 NEO “Phaethon 族” および “Icarus 族” の表層 物質類似性・不均質性と分裂過程について	阿部新助	日本大	7	柳沢俊史
小天体衝突機の軌道変更効果を可視化する Impact Geometry Map の提案	山口皓平	名大	8	
Impact Geometry Map を用いた小惑星衝突機の軌道最適 化手法に関する研究	羽山諒	名大	9	
各国宇宙機関の小惑星衝突回避策と Janess の取り組み	黒田信介	JAMSS	10	